鈴木（宇都宮）初の頂点

2位飯山（那珂川）、3位早乙女（佐野）

県社会人アマゴルフ

第37回県社会人アマチュアゴルフ選手権大会（県ゴルフ連盟、下野新聞社主催）は8日、宇都宮市のイーストウッドCC（6791㍍、パー72）で81選手が出場して行われ、鈴木貴士（宇都宮）がプレーオフの末、飯山敏弘（那珂川）を下して初優勝を飾った。

2アンダー70で鈴木と飯山が並び、昨年に続いてプレーオフとなった。右ドッグレッグの13番パー5（574㍍）が舞台。オナーの飯山がティーショットを右にOBしたのに対し、鈴木はスプーンを手にして手堅くパーでまとめ王座に就いた。

プレーオフを制し、ガッツポーズの鈴木＝イーストウッドCC、石塚万知撮影

鈴木は出だしの1番パー4でティーショットをミスしてボギーとしたものの、8番パー5（512㍍）は2番ユーティリティーで2オンし、バーディーで36でターン。後半も3バーディー1ボギーとスコアを伸ばした。

飯山敏弘

10番スタートの飯山は2バーディー34で前半トップに躍り出た。難しいとされるアウトでは2ボギーをたたいたが、8、9番で連続バーディーを奪い、通算2アンダーでトップを守った。

早乙女剛史

3位はイーブンパーで3人が並び、3バーディー3ボギーの早乙女剛史（佐野）が食い込んだ。史上初の3連覇を狙った後藤貴浩（宇都宮）は1オーバー73で6位に終わった。

上位3選手は10月23、24の両日、岡山県の東児が丘マリンヒルズGCで行われる第37回全国都道府県対抗アマチュア選手権大会の出場資格を手にした。

POを「良い経験」に

○…プレーオフで敗れた飯山敏弘（那珂川）。「迷わずドライバーを手にした。もちろん2オンを狙った」とティーショットのOBを説明した。8番パー5（512㍍）は5番アイアンで2オンに成功してバーディー。9番パー4（345㍍）も55㍍を58度のウエッジで2㍍につけバーディー。終盤の〝猛攻〟でプレーオフの舞台に立ち、初優勝に望みをつないだ。

知事盃へ気持ち新た

○…史上初の3連覇を狙った後藤貴浩（宇都宮）は1オーバー73で6位。「意識してしまったかな。後半アウトは3バーディー、3と最後まであきらめなかったと悔しがった。2ダブルボギーがすべてだった。「どこにOBゾーンがあるのか」というフェアウエーが広い11番パー4（372㍍）では、ティーショットを右に大きく曲げてOB。3番パー4（418㍍）では右の林に入れ、3オンしたものの、5㍍を3パットしてしまう大ミス。

ここ3年間で県アマ1勝、県社会人アマ2勝と好調を維持している実力者。県知事盃は2002年から遠ざかっており、「そろそろ知事盃を取りたい。この秋頑張ります」と切り替えていた。

【第37回県社会人アマ選手権大会】
（6791㍍、パー72）

−2	①鈴木	貴士	（宇都宮）	70（36、34）
	②飯山	敏弘	（那珂川）	70（36、34）
0	③早乙女	剛史	（佐　野）	72（37、35）
	④菊地	一郎	（福　島）	72（36、36）
	⑤池田	卓	（佐　野）	72（34、38）
+1	⑥後藤	貴浩	（宇都宮）	73（35、38）
+2	⑦滝沢	雅人	（さくら）	74（39、35）
	⑧金沢	太竜	（宇都宮）	74（38、36）
	⑨平野	邦広	（市　貝）	74（38、36）
	⑩赤羽	弘光	（矢　板）	74（36、38）
+3	⑪渡辺	幹根	（小　山）	75（39、36）
	⑪植木	俊宏	（　〃　）	75（38、37）
+4	⑬松村	茂	（さくら）	76（38、38）
	⑬矢板橋	学	（市　貝）	76（37、39）
	⑬張田	巧	（日　光）	76（37、39）
	⑬鈴木	周吾	（宇都宮）	76（36、40）
+5	⑰内田	宏健	（　〃　）	77（40、37）
	⑰河本	泰司	（那須塩原）	77（40、37）
	⑰酒井	正裕	（　〃　）	77（39、38）
	⑰古川	和義	（小　山）	77（39、38）
	⑰中川	雅俊	（宇都宮）	77（39、38）
	⑰松岡	一裕	（　〃　）	77（38、39）
	⑰稲沢	宏之	（那須塩原）	77（38、39）
	⑰小野崎	悟	（矢　板）	77（37、40）
+6	㉕君島	大樹	（日　光）	78（38、40）
	㉕石川	浩己	（宇都宮）	78（37、41）
	㉕半田	容一	（　〃　）	78（37、41）
	㉕八板	崇	（矢　板）	78（36、42）
	㉕中村浩之助		（小　山）	78（35、43）
+7	㉚相馬	義孝	（那須塩原）	79（43、36）
	㉚巻島	誠	（宇都宮）	79（39、40）
	㉚長江	健市	（　〃　）	79（39、40）
	㉚大貫	敬司	（　〃　）	79（38、41）
	㉚相田喜久夫		（壬　生）	79（36、43）
+8	㉟石井	淳二	（那須塩原）	80（43、37）
	㉟高橋	久雄	（宇都宮）	80（43、37）
	㉟横塚	大吾	（　〃　）	80（41、39）
	㉟田中	陸	（真　岡）	80（40、40）
	㉟デーラー・リィンデン		（宇都宮）	80（39、41）
	㉟大橋由紀夫		（日　光）	80（39、41）
+9	㊶渡辺	博史	（宇都宮）	81（43、38）
	㊶若林	徹	（　〃　）	81（43、38）
	㊶阿部	豊	（足　利）	81（42、39）
	㊶添田	克彦	（さくら）	81（41、40）
	㊶大塚	進	（真　岡）	81（41、40）
	㊶渡辺	克彦	（茂　木）	81（41、40）
	㊶寺沢	将紀	（宇都宮）	81（40、41）
	㊶篠江	一弘	（那須塩原）	81（40、41）
	㊶山田	宗弘	（宇都宮）	81（39、42）
	㊶斎藤	弘之	（小　山）	81（39、42）
	㊶大島	義彰	（那須塩原）	81（39、42）
	㊶鴨志田	翼	（宇都宮）	81（39、42）
+10	㊸芳賀祐一郎		（栃　木）	82（42、40）
	㊸和泉	一夫	（足　利）	82（42、40）
	㊸鈴木	秀幸	（下　野）	82（42、40）
	㊸松本	武宣	（宇都宮）	82（42、40）
	㊸山田	俊明	（　〃　）	82（42、40）
	㊸石川	順一	（　〃　）	82（40、42）
	㊸野口	政夫	（佐　野）	82（39、43）
	㊸田所	靖浩	（　〃　）	82（37、45）
+11	㊶古池	陽太	（宇都宮）	83（42、41）
+12	㊷大森	弘幸	（那珂川）	84（45、39）
	㊷入江	芳史	（小　山）	84（44、40）
	㊷大谷	昇	（足　利）	84（41、43）
+13	㊺岡村	航也	（　〃　）	85（45、40）
	㊺高野	聡	（那須塩原）	85（43、42）
	㊺井上	雄	（　〃　）	85（43、42）
+15	㊽豊田	裕志	（宇都宮）	87（47、40）
+16	㊾神戸	拓也	（　〃　）	88（44、44）
	㊾広島慎太郎		（　〃　）	88（44、44）
	㊾蓮実	宏幸	（さくら）	88（44、44）
	㊾和光	利一	（宇都宮）	88（42、46）
+19	㉓野尻	龍次	（東　京）	91（47、44）
	㉓阿部	和夫	（足　利）	91（47、44）
	㉓荒川	知之	（宇都宮）	91（45、46）
	㉓一ノ瀬篤史		（　〃　）	91（44、47）
+21	㉗石川	晃士	（　〃　）	93（46、47）
+22	㉘室井	光一	（　〃　）	94（48、46）
+24	㉙森	秀夫	（さくら）	96（48、48）
+31	㉚中山	英夫	（小　山）	103（56、47）

※同スコア順位は大会規定による。

県タイトル悲願成就

鈴木

ヒーロー

1㍍のパーパットを沈め優勝を決めると、両手を挙げてギャラリーに満面の笑みで応えた。すぐにグリーンサイドでは仲間による胴上げの祝福が用意されていた。鈴木貴士（宇都宮）は「長かった。ついに（県タイトルを）取りました。こんなうれしいことはない」と喜びをかみしめた。

本戦での大きな失敗は13番パー5でのOB。スプーンを手にしながら、「右にふかしてしまった」とボギーとした。だが、同じホールを使ったプレーオフでこの失敗を生かし「とにかく左と、OBだけは避けた」とパープレーで勝負を決めた。

これまで何度となく優勝争いに絡んだが、勝利の女神に嫌われ続けた。昨年の知事盃一般男子の部決勝は5人によるプレーオフに残りながら2ホール目で脱落。今年の県アマも1アンダー35の2位で折り返しながら、トリプルボギーをたたき自滅。先月、184選手が参加して下館GCで開催された全日本ミッドアマ選手権東日本B地区決勝大会（2日間）もプレーオフに残ったが2位。いずれも、手を伸ばせば届くところにあった優勝はスルッと逃げていった。

本格的に競技ゴルフを始めて13年。関東月例などにも積極的に参加して「技術を磨いてきた」。周囲もその完成度の高いゴルフを認めて「鈴木は強い。近いうちに勝つだろう」と評価していた。

大きな優勝カップを手に「いつかいつかと言われ続け、ついに勝つことができました」とスピーチした。大日向CCのハンディはプラス2。一皮むけた実力者から目が離せない。

（井上孝男）

相性抜群 試合重ね成長

横田・飯田組

テニス男子ダブルス決勝　サーブを放つ飯田（右）。左は横田＝宮崎県総合運動公園

県勢初の栄冠には惜しくも届かなかった。テニスの男子ダブルスで県勢17年ぶりの決勝進出を果たした横田大夢・飯田翔組（足大付）は準優勝。今季高体連の公式戦連勝記録がついに止まり、「そう簡単には勝たせてくれなかった」と横田は苦笑を浮かべた。

序盤は緊張から2年生の飯田がミスを連発したが、経験豊富な3年生の横田が明るい表情で励まし、勢いを取り戻した。ただ、ゲームカウント2−5から4−5と追い上げたものの、「ポイントを武器とする横田と粘り強くラリーでテンポをつくる飯田は相性の良さを発揮し、試合を重ねるごとにコンビネーションが磨かれていった。

ヒーロー

横田は久保蕉真主将から3年生4人の名前を1人ずつ挙げ、「みんなストイックにチームへ貢献してくれた。彼らがいなかったら準優勝はなかった」と感謝。そして、飯田をはじめ2年生にも「本当に助けられた」と続けた。中学生のころから横田を尊敬する飯田は「この負けを生かし、来年こそ優勝する」と誓った。結束力とチャレンジ精神。チームの伝統は次世代へと受け継がれた。

（野中美穂）

県勢2校 初戦で敗退

ハンドボール

関東中学スポーツは8日、栃木市総合体育館ほかでハンドボールなどを行った。

ハンドボールは女子の1回戦を行い、県勢の吹上と小山三はともに敗退し、全国大会へは進めなかった。吹上は前半序盤から主導権を握られ13−16で力負けした。

◇ハンドボール（栃木市総合体育館ほか）

【女子】▽1回戦

山梨南（山梨）	16	7−5	13 吹上
		9−8	
水海道（茨城）	21	11−6	14 小山三
		11−8	

追い上げ届かず無念

○…女子ハンドボールの吹上は13−16で山梨南（山梨）に敗れ、全国大会への切符を逃した。左45度の小林流瑠主将は「目標を果たせず悔しい」と唇をかんだ。

緊張と焦りからほころびが生じた陣が相手のフェイントングパスに翻弄され序盤から2−6と突を握られた。前半センター渡辺愛梨トから3連続得点い上げたが、最後い付けないまま試合た。

「かなえられな

この日は台風の影響で強い向かい風が吹く難しいコンディションにも焦りはなかった。「ハードルを跳ぶ前に強く踏み切ることを意識した」予選、準決勝はいずれも2位。決勝では優勝候補の村竹ラシッド（千葉・松戸国際）が隣

集大成

とちプロNEXT
TOCHIGI SOCIETY CLUB
10日（土）
京都―栃木SC（19時・京都市たけびしスタジアム京都）
14日（水）
▽天皇杯JFA第99回全日本選手権大会

「勝利へ全てささげる」

バックス新加入の柚木（市貝出身）

アイスホッケーリーグのHC栃木日光アイスバックスは8日、光市内でFW柚木入団記者会見を開柚木は「ルーキー

前半22分、吹上のター渡辺がシュート決める＝栃木市総育館